

編 集 後 記

平成 25 年度から本誌の編集委員の一人に任命されてから 5 年が過ぎました。皆様から投稿された数々の症例報告や短報を査読させていただきました。

ご存じのように、本誌は第 55 巻 1 号からオープンアクセス電子ジャーナルに移行し、神経学会会員のみならず一般の読者にも閲覧可能となっています。海外の英文誌でもオープンアクセスジャーナルが増えていますが、それに関わる投稿費は決して安くはありません。本誌はオープンアクセスですが高額請求は一切いたしません。本誌は、診療を通じて皆様が学ばれたこと、気づいたこと、ひらめいたことを世界に即座にお届けするための場とご理解下さい。

本誌は 1960 年に発刊され、58 年の歴史を持つ神経内科専門誌です。本誌は厳しい査読を受け、修正を繰り返し、一定の基準に到達した論文のみを掲載しています。世界的基準で timely に投稿された優れた論文のみを掲載しています。一旦 accept されれば短期間に on-line 上で公開され、英文抄録は PubMed/MEDLINE に掲載されます。毎回申し上げていますが、単なる症例報告ではなく、誰も知らない、まだ見たこともないかも知れない、皆様をご経験された症例をまず本誌に掲載し、その後、類似例が集まったところで、step up を兼ね「We previously reported…」と本誌に

既に掲載された先生ご自身の症例報告を引用しながら、英文誌に原著として投稿してはいかがでしょうか？

診断技術も急速に進歩しています。All Japan も良いですが、今や世界はインターネットでつながっています。例えば、海外では診断できるのに国内では診断の鍵となる自己抗体が測定できないために、一部の抗体のみを測定し、診断根拠が曖昧なまま治療していることはないでしょうか？日常診療ではやむを得ないかも知れませんが、症例報告としては不十分です。世界に発信している神経内科専門誌としては、鑑別診断が十分にされていない症例報告は accept することはできません。国境を超えて、目に見えない真の原因を見つけ出す努力をして下さい。

皆様の診療で、いつもとは何かが違うと、その「意外性」に気づいた際には、是非それを深く掘り下げ、神経徴候、検査所見、画像所見等を詳細に記録し、報告して下さい。いつか誰かが類似例を経験した際に、PubMed/MEDLINE で検索し、先生の論文を目にすることにより、遠く離れた地での診断・治療の一助となることでしょう。皆様からの投稿をお待ちしております。

(飯塚 高浩)

〈 編 集 委 員 〉

編集委員長 園生 雅弘 編集副委員長 高尾 昌樹
 編集委員 荒木 信夫 飯塚 高浩 池田 昭夫 亀井 聡
 鈴木 匡子 坪井 義夫 西野 一三 星野 晴彦
 編集委員(幹事兼任) 小野寺 理 新野 正明 三澤 園子

「臨床神経学」 第58巻 第7号 平成30年7月1日発行
 編集者 東京都文京区湯島二丁目31番21号 一丸ビル 一般社団法人日本神経学会
 発行者 東京都文京区湯島二丁目31番21号 一丸ビル 戸田 達史
 印刷所 〔郵便番号 602-8048〕京都市上京区下立売通小川東入 中西印刷株式会社

発行所 〔郵便番号 113-0034〕東京都文京区湯島二丁目 31 番 21 号 一丸ビル
 日本神経学会

郵便振替口座 東京 00120-0-12550

TEL. 03-3815-1080 FAX. 03-3815-1931

ホームページアドレス：<http://www.neurology-jp.org/>